

建 第481号
平成20年10月15日

国土交通省道路局長 殿

南陽市長 塩田 秀雄



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼ありましたことについて、
別紙のとおり意見を提出します。

担当 建設課 嵐田 弘一
電話 0238-40-3211
内線 322

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

山形県南陽市

1. 維持管理に金をかけない施設をつくるべきである。造れば造るほど維持管理に経費がかかれば新しいものができなくなる。
地域の実状に合った道路が必要である。
維持管理が減れば天下りの団体もなくなっていく。
2. 地方では車がなければ生活できない環境にあり、道路が一番生活になくてはならないものになっている。都会にばかり片寄った道路整備だけでなく、地方に対しても手厚い施策を望む。

○ 現状

1. バランスのとれた道路ネットワーク整備が必要である。工業、農業、観光等の産業の連携を行い、物流がスムーズに行われる道路が重要である。
2. 救急医療へのアクセス性の向上が急務である。

○ 課題

1. 市の重要幹線である都市計画街路と国道との交差部には、国が整備を行うなどの支援策を講じてほしい。
2. 南陽市赤湯から梨郷地区まで、平成20年度中に地域高規格道路が出来上がるが公立置賜総合病院へ行く西側への道路延伸と早期完成。

1. 都市の高規格道路ネットワークの構築

都市機能が集約されている現状ではネットワークは欠かせない。緊急時や災害時も広域的な連携を担う、今後のまちづくりの骨格となる。

2. 雪に強く冬でも安全な道路整備

雪国では冬季の生活に大きな負荷が生じる、支障なく道路整備を迅速に推進すべきである。

3. 地域の実状と特性に即した道路整備

不要なものはそぎ落とし便益性や使いやすさを配慮した道路整備を迅速に推進すべきである。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
<p>・地域活力の向上</p> <p>総合的な交通安全対策</p>	<p>国道13号上山バイパスの早期完成</p> <p>国道113号(新潟山形南部連絡道路)赤湯バイパスの早期完成と速やかな西進</p> <p>東北中央自動車道の早期完成</p> <p>国道113号赤湯バイパス高梨インターにおける交差点信号処理</p>	<p>混雑緩和、線形の改良</p> <p>高速化、混雑緩和、救急医療への早期アクセス</p> <p>高速化、災害時の代替ルート、混雑緩和</p> <p>沖郷小学校が極めて近いため、交通事故が激減すると思われる。</p>	